

桜町 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A組

使用教科書：（『家庭基礎 自立・共生・創造』（東京書籍））

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|---|---|
| 生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付ける。 | 生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 担当 時数 |
|---|--|---|---|---|---|----------|
| 第1章 生涯を見通す 【知識及び技能】 ・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生活資源を活用した生活設計について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図る。 | ・指導事項 1 人生を展望する 2 目標を持つて生きる | 【知識・技能】 ・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。 【思考・判断・表現】 生活資源を活用した生活設計について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | | | | 4 |
| 第2章 人生をつくる 【知識及び技能】 ・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解する。 【思考・判断・表現】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を設定し、解決策を構想し課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 青年期の自立と家族・家庭及び社会について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図る。 | 1 人生をつくる 2 家族・家庭を見つめる 3 これからの家庭生活と社会 | 【知識・技能】 生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解している。 【思考・判断・表現】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たすことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭及び社会について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | | | | 6 |
| 第3章 子どもと共に育つ 【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践する。 | 1 命を育む 2 子どもの育つ力を知る 3 子どもと関わる 5 これからの保育環境 | 【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けた。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | | | | 8 |
| 定期考査 | 2学期期末考査・考査返却 | | | | | 2 |

| | | | | | | |
|---|--|--|---|---|---|---|
| <p>第8章 住生活をつくる</p> <p>【知識及び技能】 住生活を取り巻く課題など、住まいと人との関わりについて理解を深める。 ライフステージの特徴や課題に着目し、住生活の特徴について科学的に理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主体的に住生活を営むことができるよう防災などの安全に配慮した住生活とまわりの関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践する。</p> | <p>1 住生活の変遷と住居の機能 2 安全で快適な住生活の計画 3 住生活の文化と知恵</p> | <p>【知識及び技能】 住生活を取り巻く課題など、住まいと人との関わりについて理解を深めている。 ライフステージの特徴や課題に着目し、住生活の特徴について科学的に理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主体的に住生活を営むことができるよう防災などの安全に配慮した住生活とまわりの関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p> <p>【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 6 |
| <p>第4章 超高齢社会を共に生きる</p> <p>【知識及び技能】 高齢期の心身の特徴について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践する。</p> | <p>1 超高齢・大衆長寿社会の到来 2 高齢者の心身の特徴 3 これからの超高齢社会</p> | <p>【知識・技能】 高齢期の心身の特徴について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けられた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践する。</p> | ○ | ○ | ○ | 4 |
| <p>第5章 共に生き、共に支える</p> <p>【知識及び技能】 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践する。</p> | <p>1 私たちの生活と福祉 2 社会保障の考え方 3 共に生きる</p> | <p>【知識・技能】 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 4 |
| <p>第9章 経済生活を営む</p> <p>【知識及び技能】 自立した責任ある消費者として、よりよい意思決定ができるよう、現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 実生活の家計の収支を認識する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践する。</p> | <p>1 情報の収集・比較と意思決定 2 購入・支払いのルールと方法 3 消費者の権利と責任 4 生涯の経済生活を見通す</p> | <p>【知識・技能】 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう契約の重要性について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 生活における経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> | ○ | ○ | ○ | 8 |
| <p>第10章 持続可能な生活を営む</p> <p>【知識及び技能】 生活と環境との関わりについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p> | <p>1 持続可能な社会を目指して</p> | <p>【知識及び技能】 生活と環境との関わりについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践する。</p> | ○ | ○ | ○ | 2 |

| | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|----|
| 第6章 食生活をつくる 【知識及び技能】 食品の栄養的特質について理解する。 食品の調理上の性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 食の安全について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考える。 | 1 食生活の課題について考える 2 食事と栄養・食品 3 食生活の選択と安全 6 食生活の文化と知恵 7 これからの食生活 | 【知識・技能】 健康や環境に配慮した食生活について理解している。 【思考・判断・表現】 食の安全について問題を見いだし考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、食の安全について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想して課題を解決する力を身に付けている。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| 定期考査 | 2学期期末考査・考査返却 | | ○ | ○ | | 2 |
| 第7章 衣生活をつくる 【知識及び技能】 私たちが被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 手持ちの被服を長期にわたり着用することができるよう、管理や手入れの工夫について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 全ての人が健康・安全・快適な衣生活を営むためのユニバーサルデザインの被服について理解を深める。 | 1 被服の役割を考える 2 被服を入手する 3 被服を管理する 5 これからの衣生活 | 【知識・技能】 被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 被服の機能性や快適性について課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| 第11章 これからの生活を創造する 【知識及び技能】 人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践する。 | 1 生活をデザインする | 【知識及び技能】 人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 2 |
| 定期考査 | 3学期期末考査・考査返却 | | ○ | ○ | | 2 |
| | | | | | | 合計 |
| | | | | | | 70 |

